

被害者が加害者にされた！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件

裁判支援NEWS

東日本旅客鉄道労働組合(JR東労組)
2025年 6月20日 No.2

JR東日本、副長から準備書面が提出される！

JR東日本 【準備書面(要旨)】

● Aさんがソファから立ち上がり、駅長室の出入口に進もうとしたためB副長は、右手でAさんの左肩を押さえて制止し、席に戻るよう指示した。Aさんはそれでも制止に従わず、なおも出入口に進もうとしたためB副長は右手でAさんの左肩を押さえることに加え、左手でAさんの右腕ないし右腰付近を押さえたところ、AさんとB副長が押し合う状態になり、その際に、Aさんが押合いの反動でソファ席にもたれかかる形で座ることになった。

副長 【準備書面(要旨)】

■ Aさんはいまだちを抑えることができず、一方的に退室しようとし、出口付近に立っているB副長を押しつけようとした。B副長は話し合いを継続しようと、Aさんを落ち着かせるためと、強引に退出しようとするAさんを制止するために、右手を自身の前に出し、Aさんに掌を向け「座って下さい。」といいながらソファに誘導した。

ポイント

JR東日本と副長の事実経過が食い違う！

● そこから、Aさんがソファ席から立ち上がり、B副長がそれを押さえるというやりとりが続いたところ、

■ これに対しAさんがB副長を押しつけて立ち上がろうとし、その力が増していったので、B副長はやむを得ずAさんの左肩を自身の右手で抑え、Aさんの右肩を自身の左手で抑える形となった。

その後、Aさん「パワハラですよ」、B副長「パワハラではなく、今後の健全な職場運営のための話し合いです。」、Aさん「(半笑いをしながら)パワハラしないでください、触れないでください、助けてー」と述べた。

その後もB副長がAさんに触れていないにもかかわらず「パワハラ」や「助けてー」等の発言を繰り返していた。これに対してB副長は健全な職場運営のための話し合いであることを繰り返し伝え続けた。

ポイント

副長がAさんの首元を押さえつけたことがなかったことにされた！

● Aさんがさらに強い力を加え、B副長は、Aさんからの有形力の行使により、背中から地面に叩きつけられた。

■ この状況で、Aさんは強引に退出するために、怒りに任せB副長を突き飛ばし、B副長は一瞬空中に飛ばされる形で床にたたきつけられた。

● B副長に首元を押さえつけられたという事実は認められない。

■ Aさんの強引な退出を「制止」しようとしたものであり、Aさんを「攻撃」しようとしたものではない。

Aさんは裁判で真実を明らかにします